

〔第3期〕

## 決算公告

自 2023年 1月 1日  
至 2023年12月31日

株 式 会 社 タウンハウジング埼玉

## 貸借対照表

(2023年12月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流動資産</b>	<b>495,732</b>	<b>流動負債</b>	<b>335,296</b>
現金及び預金	466,893	営業預り金	56,891
営業未収金	13,894	預り金	258
未収入金	456	未払金	172,445
前払費用	13,355	未払費用	10,891
棚卸資産	1,133	未払法人税等	53,782
		未払消費税	31,080
		賞与引当金	9,946
<b>固定資産</b>	<b>261,863</b>	<b>固定負債</b>	<b>22,090</b>
有形固定資産	<b>68,912</b>	退職給付引当金	22,090
建物	59,596		
工具器具備品	9,316		
無形固定資産	2,111		
電話加入権	2,111		
<b>投資その他の資産</b>	<b>190,839</b>	<b>負債合計</b>	<b>357,386</b>
長期前払費用	3,981	<b>純資産の部</b>	
保証金	161,493	株主資本	400,209
繰延税金資産	25,363	資本金	30,000
		資本剰余金	229,558
		資本準備金	229,558
		利益剰余金	140,650
		繰越利益剰余金	140,650
		うち当期純利益	83,960
		<b>純資産合計</b>	<b>400,209</b>
<b>資産合計</b>	<b>757,596</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>757,596</b>

## 個別注記表

### 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1) 資産の評価基準及び評価方法

##### ① たな卸資産

- i 棚卸資産・・・・・・・・先入先出法による原価法を採用しております。  
なお、貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法により算定しております。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

##### ① 有形固定資産(リース資産を除く)・・・・・・・・定率法を採用しております。

ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物	10年～34年
工具器具備品	3年～20年

##### ② 無形固定資産(リース資産を除く)・・・・・・・・定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

##### ③ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

#### (3) 引当金の計上基準

① 賞与引当金・・・・・・・・従業員への賞与の支出に備えるため、支給見込額の内、当事業年度に発生した額を計上しております。

② 退職給付引当金・・・・・・・・従業員への退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。なお、簡便法によっております。

(4) 重要な収益及び費用の計上基準

当社の顧客との契約から生じる収益に関する主要な事業における主な履行義務の内容及び当該履行義務を充足する通常の時点（収益を認識する通常の時点）は以下のとおりであります。

(賃貸仲介事業)

賃貸仲介事業の仲介手数料については、賃貸借契約起算日時点で履行義務が充足されるものと判断し、収益を認識しております。